

議案や請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、9月27日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

総務

※各常任委員会の所管部署
政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

総合評価方式における 入札業者増加の工夫を

【22年度決算】

歳出の一般管理費では、非核平和事業について、委員から、対象者の範囲を広げ、参加を促してほしいとの意見がありました。

委員会の 審査から

こんな質問、あんな意見もありました

総務常任委員会
文教・建設常任委員会
健康福祉常任委員会
市民生活常任委員会

IT推進費では、委員から、情報化推進計画策定業務と今後の技術革新を踏まえた計画について質疑が出され、執行部から、情報化推進計画はあくまでも指針であり、今後の技術革新時には見直しながら進めたいとの説明がありました。



▲1号調整池（市立図書館前）

など、違う形での監査を広げているとの説明がありました。

防災費では、委員から、住民版地域防災計画等作成支援業務について質疑が出され、執行部から、戸田市の洪水ハザードマップをもとに市内46の自主防災会を対象に実施して

おり、今年度は10の自主防災会で実施しているとの説明がありました。

【1号調整池設備工事
請負契約】

1号調整池設備工事請負契約では、委員から、総合評価方式での

文教・建設

都市整備部
教育委員会

給食費の未納額を 減らす取り組みを

【22年度決算】

都市計画総務費では、マンション建設における風害について、認識を事業者に持たせるために、宅地開発等指導要綱に明文化する必要があるのでないかとの質疑があり、執行部から、各自治体に対して、アンケート調査を行って、その結果を参考に、検討したいとの説明がありました。

小学校費の学校建設費では、仮設教室借り

入札について、入札業者を増やす工夫をしてほしいとの意見が出され、執行部から、施工実績の金額設定を変えたいとの説明がありました。

ら、年間指導計画で行っている、学校教育では、大変厳しい状況であるが、より利用が進められるようPRしたいとの説明がありました。



▲学校給食センター（戸田競艇場対岸）

上げ料について、今後の児童数の推移を見ながら、校舎の建て替えも含め、検討しているのかとの質疑があり、執行部から、増築等は難しい状況にあるが、先を見越して検討していきたいとの説明がありました。

少年自然の家費では、学校教育の中で、さらなる活用についての質疑があり、執行部か

健康福祉

福祉部・こども青少年部
福祉事務所
医療保健センター

高齢者の安心拠点である 地域包括支援センターの充実を

【22年度決算】

高齢者福祉費では、敬老会の案内を、高齢者の方に敬意を表するとともに、安否確認をするため、郵送ではなく、直接届けることを検討してもらいたいという意見がありました。



▲市立地域包括支援センター（介護老人保健施設内）

【介護保険及び在宅介護支援事業特別会計歳入歳出決算】

地域包括支援センターの名称変更を当委員会の総意として要望したことに対して（関連18ページ）、執行部から業務内容の充実と合わせて検討していきたいという答弁がありま

また、美笹地区あんしんネットワークなど、新しい事業がふえていくと思うが、地域包括支援センターの人員は十分なのかという質疑があり、執行部から、まず非常勤職員の配置で対応していきたい

という答弁がありました。

【23年度補正予算】

福祉センター運営費では、西部福祉センターの老人いこいの室のお風呂の修繕に関して、早急に業者を決定して、修繕したいとの説明があり、市民が待ち望んでいることであり、速やかに修繕して

もらいたいという要望が複数の委員からありました。

また、各福祉センターのいこいの室を、節電対策の一環として、木曜日に閉室しているが、電力使用制限令は解除されており、早急に閉室するよう当委員会の総意として要望しました。

市民生活

市民生活部
消防本部
上下水道部

市民に身近な場所の 放射線量測定を

【22年度決算】

総務費の行政振興費では、ふるさと祭り事業への補助金が減額されたことについて、ふるさと祭り開催には、市の一層の協力が必要であり、補助金を復活するよう要望するとの意見が出されました。戸籍住民基本台帳費では、コンビニにおけ

る住民票等の交付状況について、事業を開始した23年1月から8月までに158件の利用があったことや、コンビニ交付に必要となる住基カードについて、23年7月、8月に住基カード用写真の無料撮影を実施するなど、住基カードの交付に力を入れていくとの説明が



▲空間放射線量の測定の様子（市スポーツセンター）

ありました。民生費の市民保養所費では、保養所の海拔が15メートル程度で、非常に低いことから、東日本大震災を踏まえ、避難訓練を実施しているとの説明があり、委員からは、今回の震災を教訓とし、指定管理者に万全を期すことを求めていくよう意見が出されました。

【23年度補正予算】

衛生費、環境保全費では、10月以降、業務委託ではなく、市が購入した放射線量測定器を活用し、空間放射線量を測定することに伴い、通学路など子供がよく通るところや、市民に身近なところを漏れなく測定してほしいとの要望が出されました。